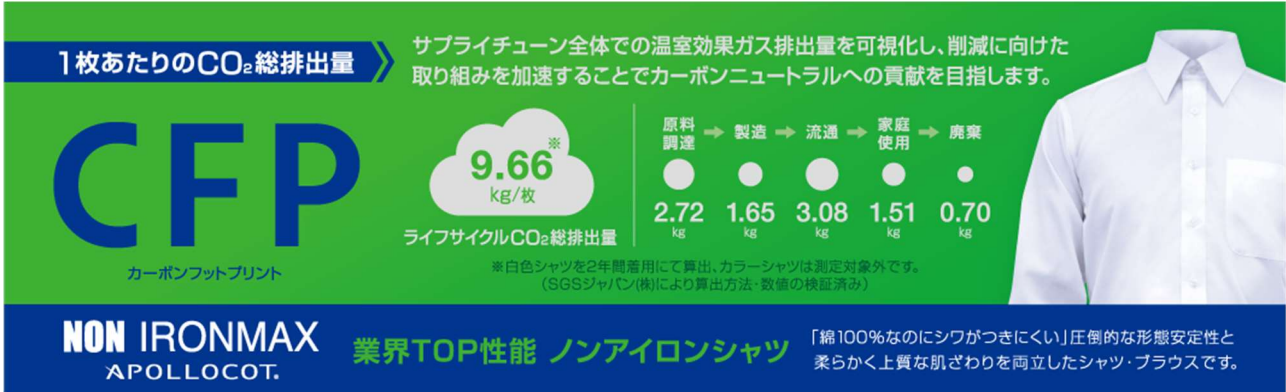


当社初、カーボンフットプリント取り組み開始
 「洋服の青山」と共同し、累計販売枚数 No.1 ノーアイロンシャツ
 CO₂排出量の可視化



日清紡テキスタイル株式会社(本社：東京都中央区／代表取締役社長：村田馨(むらた かおる))は、累計販売枚数 1,400 万枚の実績を持つ綿 100%ノーアイロンシャツ「アポロコット®」において、当社で初めてとなる CO₂排出量の算出(カーボンフットプリント*)を開始しました。同商品の販売先である青山商事株式会社と共同して、製品ライフサイクル(原料調達→製造→流通→家庭使用→廃棄)の CO₂排出量を可視化・共有化します。

これを機に消費者を含むサプライチェーン全体での CO₂等温室効果ガス削減に向けた取り組みを加速してまいります。当社は繊維業界のリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現に向けて、あらゆるステークホルダーの方々と共に地球環境問題の解決に取り組んでいます。

●サプライチェーン全体で効果的な温室効果ガス削減対策

従来、アパレル小売業がスコープ 3(購入した製品等)の CO₂排出量を算出する際は、二次データ(業界平均値や推定値)の使用が一般的となっていました。このたび直接算出した精度の高いカーボンフットプリントの一次データの活用により、サプライチェーン全体で CO₂排出量の削減に向けたより効果的な施策を可能にします。

今回の算出で「アポロコット®」製品ライフサイクルアセスメントで排出される CO₂*²は、メンズシャツ(白)で 9.66 kg-CO₂eq*³、レディースブラウス(白)で 8.72 kg-CO₂eq となります。

●消費者によるノーアイロンシャツ「アポロコット®」での CO₂削減効果



年間 50 回、1 回あたり 3 分のアイロンがけを行った場合、電力消費による CO₂排出量は約 2.05kg-CO₂eq /年*⁴ となります。この値はレジ袋 60 枚分*⁵に相当します。最高レベルのノーアイロン性を持つ「アポロコット®」のご使用によりアイロンがけによる消費者の手間と排出される CO₂が削減されます。

●環境への取り組み

日清紡グループはインドネシアに一貫した製造拠点を（紡織／生地加工／縫製）を保有しており、温室効果ガス削減に向けて本格的な改善に取り組んでいます。2021 年下期に石炭自家発電を停止、2022 年下期には再生可能エネルギーを導入したことにより温室効果ガス排出量を大幅に削減しました。

インドネシア製造拠点のスコープ 1, 2（主に自社での製造時での排出）における温室効果ガス排出量は、改善前の 2021 年度と比べて 2022 年度は約 60%の削減となりました。

●「アポロコット®」に関して

「アポロコット®」は、綿 100%の着心地の良さを感じながら、自宅でのアイロンがけの煩わしさを解消したい消費者ニーズに応えようと、日清紡グループの技術を結集して開発。究極の綿 100%ノーアイロンシャツとして 2009 年から「洋服の青山」にて『ノンアイロンマックス®』として販売を開始しました。2023 年 10 月末時点で累計販売枚数 1,400 万枚を誇る業界 No.1 ノーアイロンシャツとなります。

発売以後も改良を加え、2018 年には世界最高水準の安全保証の「エコテックス®スタンダード 100」の認証を取得し、製品の安全性も追求してきました。今回のカーボンフットプリントという新たな取り組みにより、「アポロコット®」は持続可能で安心・快適な暮らしを貢献するノーアイロンシャツにさらに進化しました。

以上

- *1 カーボンフットプリントとは、商品の原料調達～廃棄までのライフサイクルで排出される温室効果ガスの排出量を CO₂換算して分かりやすく表示する仕組みのこと。情報の開示により消費者の低炭素商品選択の助けとなります。またサプライチェーン全体での排出量を数値として「見える化」することにより、排出量が高い要素への効果的な削減アプローチが可能となります。
- *2 メンズシャツは白 M-82 サイズ、レディースブラウスは白 9 号にて算出。カラーシャツは今回測定の対象外となります。カーボンフットプリントの計算方法は ISO 14067 に準拠し適切に算出されていることを SGS ジャパン株式会社により検証されました。シャツの使用は 2 年間で想定しています。
- *3 CO₂eq は、“CO₂ equivalent” の略称で、温室効果ガス排出量に地球温暖化係数を用いて CO₂相当量に換算した値に付される単位です。
- *4 消費電力 1,000W と想定し、アイロン 50 回での温室効果ガス排出量を CO₂相当量に換算し算出。SGS ジャパン株式会社による算定方法の妥当性検証済みです。
- *5 環境省 廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室『3R 原単位の算出方法』61-62 頁のレジ袋（サイズ L, 重量 6.8g, 素材 高密度ポリエチレン）の原料調達・製造加工・廃棄過程に生じる温室効果ガス排出量の記載を参照しました。